

## 事業計画書

事業名	Fitness Park NUMAZU (沼津中央公園から健康と元気を作るきっかけを！)
実施場所	沼津中央公園
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和4年 8月 1日 ~ 令和4年 11月 28日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

今回のイベントを狩野川ハーフマラソンと同日に実施する事で、対象をマラソン参加者だけでなく応援に駆け付ける家族や友人、ランナーを応援する通りすがりの方など、当日その場に来られた全ての方を対象にしたイベントとして開催する。公園・交流・健康の3つのテーマをつなげ、本来交流の場である【公園】で全ての年代が参加できる体験型イベントを通じて市民が【交流】し、身体を動かすきっかけを作る事で【健康】を提供する。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

コロナ禍により、リモートワークやマスク着用、外出制限等により体を動かす機会の減少や子供のスポーツをする機会を父兄が見る事が出来ないなど、本来家族や仲間との交流のきっかけとなる場であったスポーツが出来る環境が制限されている。今回の、健康フェスタでは幼児から高齢者までが身体を動かす体験や交流をする機会と場を提供する事で、改めて身体を動かす楽しさを知り、身体を動かすきっかけとなり、イベントを通じた交流によるココロと身体の健康を創造する場所としていく。

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
8月1週目	ポスターなどの案内資料最終決定、実施内容最終決定
8月2週目	内容に対する、必要人員、必要物品確認など必要事項の担当人員配置
8月3週目	内容準備物、イベント内容必要人員確保、イベント人員説明 イベント案内告知スタート、参加者募集開始
8月4週目	ボランティア人員同時募集
9月2週目	打ち合わせ
9月3週目	イベント必要物品確認、発注、イベント会場運営決定
9月4週目	イベント必要物品発注状況、イベント会場運営安全面確認
10月2~3週目	イベント安全面対応、運営流れ 打ち合わせ
10月4週目	ボランティア参加者説明 イベント当日運営、人の流れ、準備物、安全面対策最終確認
11月19日	イベント前日準備
11月20日	イベント当日
11月21~28日	主要スタッフでの検討会 検討会を元にイベント内容のまとめ資料作成、参加者、運営者フィードバック

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

### ① 市民の健康への意識向上 ②様々な年代との交流の活性化。

全年代参加型で身体を動かす事により、成人から高齢者の健康への意識向上による運動への取り組み率向上、幼児や学童年代の子供や孫が運動を始めるきっかけとなる事や、周囲の方が応援する機会を設ける事で家族、市民同士が交流を図るきっかけを作る事が出来る。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 体験参加者へのアンケート 各項目に対しての、好意的意見 70%以上	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 体験参加時に、アンケート記入。参加者の年代と各項目への意見を数値化する。
------	---	-------------	---

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 今までの運動教室は、年代に特化した内容が多く限られた参加者に絞っている印象がある。今回は、幼児から高齢者、性別などの区切りを持たずより多くの方が参加し、年代を超えた交流を図る事により、ヒトが集まり、元気になれる場が必要であると考えている。
地域性	※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 沼津駅周辺の現状は、飲食他においても閉店等によりしまっているお店も多く活気が薄れている。沼津中央公園は、沼津中心街に位置する公園としてより、ヒトが集まり、交流の場となる機能を持つべき場所だと認識しておりその役割を活かしていきたい。
先導性	※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 全ての年代が参加出来る体験型イベントとなる。対照的に、幼児から高齢者といった視点は体力等の面も含めて、管理が難しくなる点があるが、幼児の参加体験を見守るだけでなく、高齢者の方自身も体験が出来る事を企画し行う。
発展性 ・ 継続性	※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについて記載して下さい。 幼児から高齢者、全ての方が参加・体験できるイベントとしての認知が広がる事で継続しての参加者の増加と、参加者同士の交流を広げる事が出来る。公園での交流が広がり、ヒトが集まる事で街に人が流れる事も期待できる。
実現性 ・ 妥当性	※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 実施する内容については、実施団体が運動に対して行ってきた要素を取り入れて考えていく事が出来、作成しやすい。予算についても、人件費、雑費等は抑えて実施する事が出来る為、資金準備も抑えられ実現性は高い。他のイベント自体の開催実績はある為、そのノウハウを活かすことでスケジュールについても予測性を持ち作成する事が可能である。
活動に対する 熱意	※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 健康的な身体作りの為には、社会的、精神的、肉体的に満たされた環境を作る必要がある。今回のイベントでは、わかりやすい肉体的要素を元として、そこに集まる人の交流を一番のテーマとしている。人が交流する事で、社会とのかかわりや、ヒトとのかかわりから心も満たされる。この様な場を、沼津の中心地、中央公園で行う事に意義を感じている。

## ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

開催実績があり、集客力（500～1000名）のある狩野川ハーフマラソン大会のスタートゴール地点にはマラソン参加者の家族や知人、周辺市民などランナーよりもより多くの方が応援に駆け付ける。そのような方達も楽しめる体験型イベントを実施し認識していただく事で、【狩野川ハーフマラソン＝ランナー以外も楽しめるイベント】という認知を高めていきたい。この様な、印象を作る事でマラソン大会参加者のリピートにつながり、家族や知人、周辺市民も楽しみにして頂けるイベントにすることが出来る。

体験型イベントでは、各地域で行われているスポーツなどを取り入れ、様々な年代が参加出来る体験型イベントとして継続していく。

例：沼津東高校ボート部の参加（ボート体験）→地域のスポーツ、学生と地域の方の交流等